年間授業計画　様式例

高等学校　令和５年度（２学年用）　教科　国語　科目　古典基礎演習（理系）

教　科：　国語　　科　目：　古典基礎演習（理系）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　7 組～　　8 組

教科担当者：達伊

使用教科書：（「精選古典探究　古文編」「精選古典探究　漢文編」三省堂　　）

教科　国語　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】古典を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質や中国等の外国の文化との関係について、理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】古典作品について内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしながら表現力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】多様な見方、考え方、感じ方に触れ、物事を総合的に捉える能力を身に付ける。

科目　古典基礎演習（理系）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文法の知識を習得し、それらを活用して古典作品を読むことで言語文化についての理解を深める。	古典作品を読解し、それをもとに自分の考えを積極的に発信し、他者との協働的な活動を通して表現力を身に付ける。	多岐にわたる古典作品を通して、先人の見方、考え方、感じ方に親しみ、多様化した社会に必要な相互理解力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	説話	・古語意味調べ ・現代語訳（発表・共有） ・話の展開と登場人物の心情を読み取る	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する	○	○	○	4
	説話	・古語意味調べ ・現代語訳（発表・共有） ・和歌を通して登場人物の心情を読み取る	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	故事成語	・訓読（発表・共有） ・故事成語が現在どのような意味で使われているのか理解する	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する	○	○	○	5
	漢詩	・訓読（発表・共有） ・詩形や押韻、詩の構造を理解する ・漢詩に詠われている情景や心情を読み取る ・日本の言語分野における漢詩の意義について考える	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
2学期	随筆	・古語意味調べ ・現代語訳（発表・共有） ・随筆に表現された筆者の考え方を読み取る	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する		1		10
	物語	・古語意味調べ ・現代語訳（発表・共有） ・物語の設定や構成、展開を理解する ・登場人物の心情を読み取る	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する				7
3学期	物語	・古語意味調べ ・現代語訳（発表・共有） ・同じ題材を扱った物語を読み比べ、物語の多様性について考える	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する				8
	軍記	・古語意味調べ ・現代語訳（発表・共有） ・物語の背景を理解し、登場人物の行動や心情を読み取る	○	○	○	提出物、授業態度、定期考査等 総合的に判断する				4
										合計
										47